

川崎市営トロリーバスと市庁舎

用意するもの

カッター、カッターマット（カッターを使う時の下敷き）
はさみ、ピンセット、定規、針、糸、粘着テープ
接着剤（ペーパーボンドなど）
棒状のもの（鉛筆、筆など）
同封のペーパークラフトシート（7枚）

注意

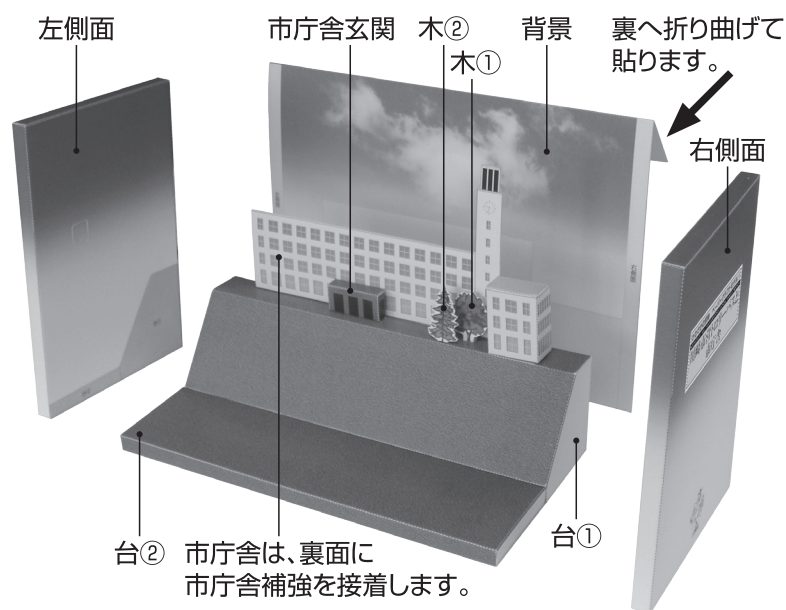
★カッターや針を使う時は、じゅうぶん注意してください。
★紙や接着剤を使いますので、火の近くでの組み立てはさけてください。
★直射日光、高温、多湿の場所での保管はしないでください。

組み立てのポイント “ゆっくり、落ちついて、ていねいに”

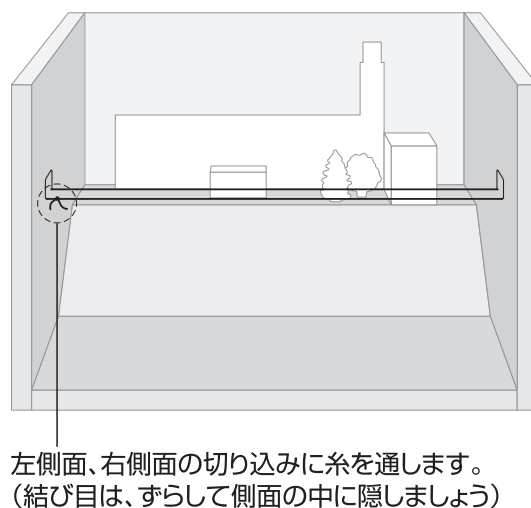
- 各パーツの切り取りは、カッターでていねいに切り離してください。
- のりしろの山折り部分は、あらかじめ先の尖った物で折り目を入れ、軽く折り曲げておくと貼りやすいです。
- 接着剤がはみ出した時は、ヨウジなどを使ってこそげ落とすとキレイに仕上がります。
- パーツを貼りつける時は、しっかりと接着するまでしばらく指で押さえましょう。
- ペーパークラフトは、天候、湿度などで伸縮による誤差が生じる場合があります。状況に応じて全体を調整してください。

完成予想図と各シート内容を確認してください。各パーツは、1パーツごとにていねいに切り離しながら、のりしろ部分に接着剤（ペーパーボンドなど）をつけ、図の順番どおりに、組み立てていきます。

- 1** 左側面、右側面、台①、台②はそれぞれ箱状に組み立てます。
台①と台②を接着してから、左側面、右側面、背景を接着します。

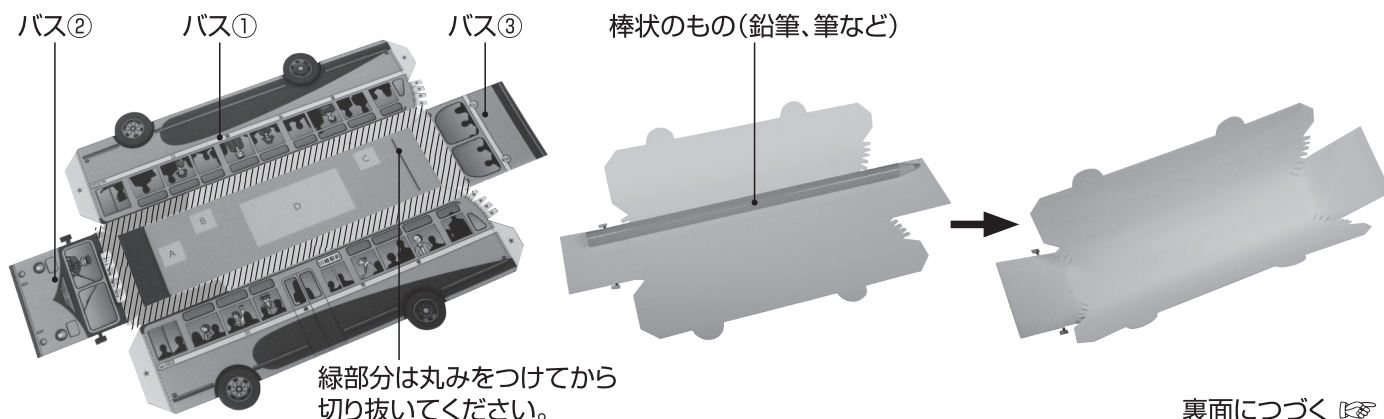


- 2** 架線（糸）を設置します。



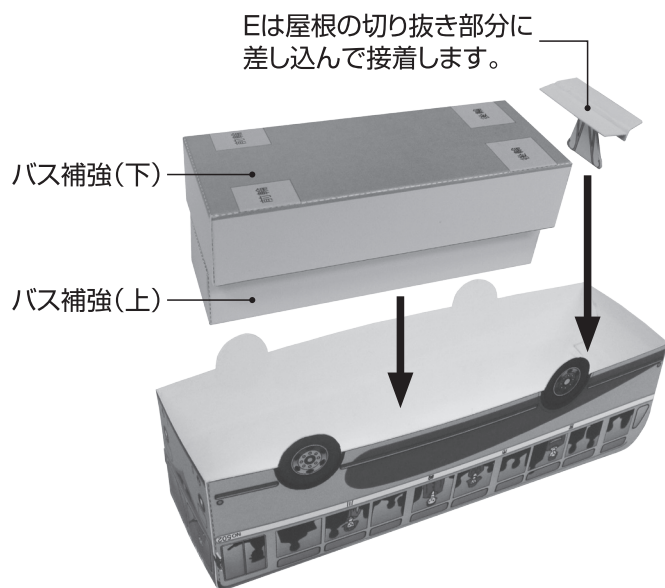
市庁舎、市庁舎玄関、木①、木②をそれぞれ組み立て、台①に接着します。

- 3** バス①、バス②、バス③を接着してから斜線部分を内側から棒状のもの（鉛筆や筆の軸など）を当て、丸みをつけてから組み立てます。

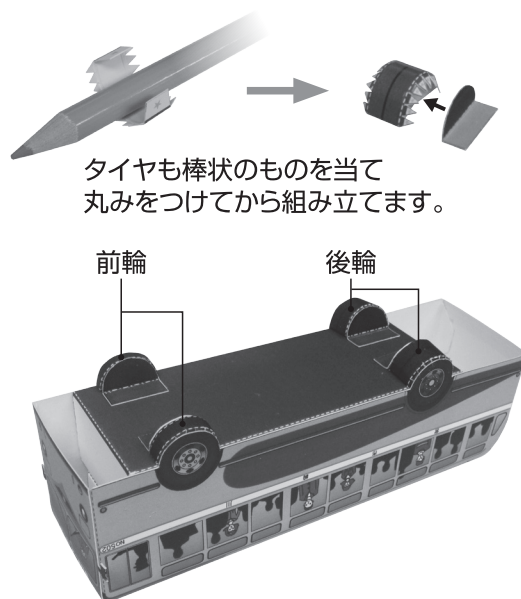


裏面につづく 18

- 4 バス補強(上)、バス補強(下)を接着してから
タイヤの位置を合わせながらバス内部に接着します。

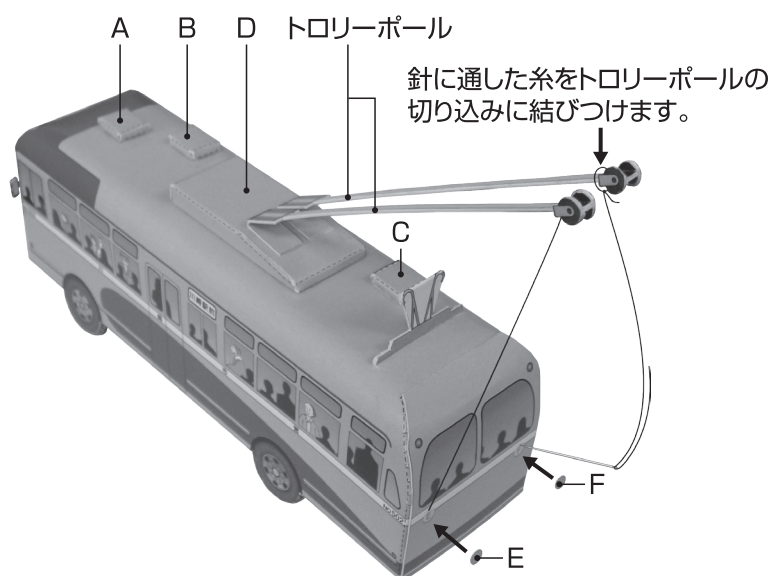
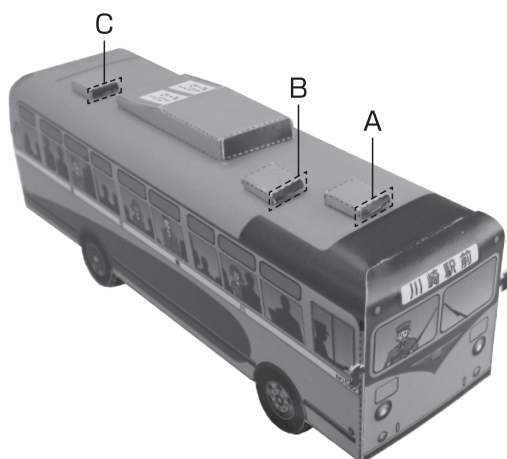


- 5 タイヤ(前輪、後輪)をつけます。



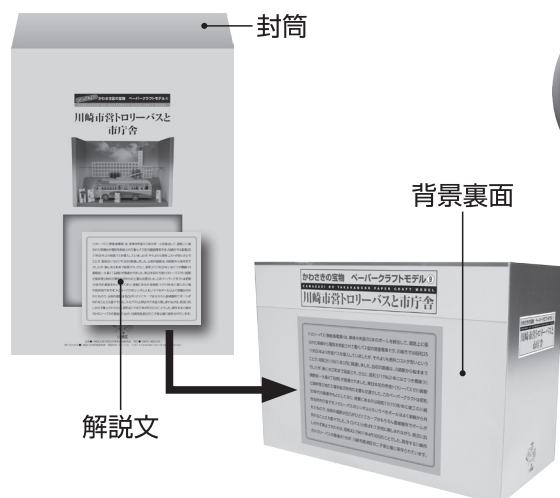
- ⑥ A、B、C、D、トロリーポールをそれぞれ組み立て、屋根に接着します。

A、B、Cは黒部分が
前方方向になるように接着します。



バス本体のE、Fに糸を突き通してトロリーポールが架線と接触する長さに調節して内側から粘着テープで固定してください。

- 7 封筒の解説文を切り取って
背景の裏面に接着してください。



- 8** バス停、人を組み立てます。トロリーバス、バス停、人は接着せず
自由な場所において、色々な風景をお楽しみください。

